

令和2年度予算に向けた提言に対する回答

1 「学校教育」について

《提言内容》

施策名	03	学校教育
展開方向	02	体験的・実践的な活動を通して、豊かな心の育成に取り組めます。
<p>【いじめ防止等のための取組】・【体罰根絶に向けた取組】</p> <p>・成果と課題</p> <p>いじめ防止等のための取組については、尼崎市いじめ防止基本方針に基づく取組を進めているが、教職員等に対するいじめへの感度を高めるための研修、児童生徒に対するいじめ防止教育、携帯電話・スマートフォン利用に係るルール作りなど、いじめ防止対策の強化を図る必要がある。また、市立尼崎高等学校・市立中学校において発生した体罰事案等を受け、それらの根絶に向けた再発防止策を講じる必要がある。</p> <p>・今後の取組方針</p> <p>学校現場におけるいじめ、体罰の課題解決に向けた取組状況を絶えず検証し、改善を図っていくとともに、教員の非違行為の根絶はもとより、本来教員に求められる教育上の役割が適切に果たされるためには、教育委員会と学校現場が一体となって、学校のマネジメント機能の強化・学校運営の透明化・教員の資質向上に向けた組織的な取組を推進すべきである。</p>		

《提言に対する取組状況》

【令和2年度予算編成への反映状況及び今後の取組方針】

いじめや体罰を根絶するためには、今後とも適切な対策を不断に進めていかなければならないことから、これまでの取組に加え、次に掲げる対策を新たに講じ、学校のマネジメント機能の強化、学校運営の透明化、教員の資質向上に取り組む。

- いじめの防止に向けて、定期的なアンケートや取組状況の把握等を全ての学校で確実に実施する。
- 市立小学校にはSNS等に専門知識のある支援員を派遣し、出前授業を行うことで、児童の情報モラルの向上及びネットいじめの防止を図る。
- いじめや体罰等の問題を匿名で報告することができるアプリ「STOPit」の対象を、市立高等学校の生徒にも拡げ、問題の速やかな解決に取り組む。
- 教員の資質向上に向けては、新たに外部機関への委託により、教職員を対象とする体罰防止やコンプライアンスに関する研修を実施する。
- 体罰根絶有識者会議における議論を踏まえた具体的な改革を推進する。

また、これらの教育行政の取組に加え、子どもの権利擁護という幅広い視点で、次に掲げる対策を講じ、重層的かつ効果的に子どもの安全・安心な環境の確保を図る。

- 全市立学校等を対象に、体罰をはじめとする子どもの人権侵害に関するアンケート調査を実施する。
- アンケートの調査結果及び対応状況を公表するとともに、いじめや体罰等が生じた背景や課題を分析し、その根絶に向けた取組等を進めていく。

2 「子ども・子育て支援」について

《提言内容》

施策名	04	子ども・子育て支援
展開方向	02	保育施設等の定員増など、子どもの健やかな育ちと子育て家庭を支援します。
<p>【保育事業】・【放課後児童対策（児童ホーム）】</p> <p>・成果と課題</p> <p>保育事業については、保育士宿舍借り上げ支援事業の補助期間を延長したほか、新卒保育士就労支援事業を開始することで保育士の確保等に努めた。また、小規模保育事業の公募等を行った結果、8箇所127人の定員を確保し、あわせて認定こども園の移行等に伴う定員増なども含め前年4月と比べ251人の定員増が図れた。さらに、認可保育所の公募については3箇所を選定し240人の定員を確保したが、これらの園は令和元年度下半期以降の開設を予定している。しかしながら、保育士不足が顕著であり、更なる保育士確保策の充実や就労継続につなげるための支援が必要である。また、10月から始まった幼児教育・保育の無償化に伴う保育需要への影響も踏まえる中、具体的かつ効果的な定員確保を図るため計画的な待機児童対策に取り組む必要がある。</p> <p>児童ホームについては、緊急的な学校教室の活用等により定員拡大を行った。民間児童ホームについては5箇所105人の定員を確保した。しかしながら、今後、幼児教育・保育の無償化の影響等により、当分の間、利用希望者は更に増える見込まれることから、引き続き、公設児童ホーム及び民間児童ホームの定員拡大に取り組む必要がある。</p> <p>・今後の取組方針</p> <p>待機児童の解消に向けては、保育の無償化による待機児童数への影響も踏まえながら、保育所・児童ホームの定員拡大及び保育所での保育士確保のための取組を、スピード感を持って進めることが必要であり、とりわけ保育士の処遇改善など保育士確保につながる新たな発想での効果的な取組を推進すべきである。</p>		

《提言に対する取組状況》

【令和2年度予算編成への反映状況及び今後の取組方針】

保育所等の待機児童は、これまでから様々な対策を講じているものの、未だ解消に至らない状況にあることから、早期解消に向けて、次に掲げる取組を新たに進めることで、更なる保育施設の定員拡大や保育士確保を図っていく。

- 保育施設等の定員拡大に向け、待機児童の多いエリアでの保育所等の新設、また、既存の法人保育園の定員拡大を伴う建替え等の費用を補助する。
- 更なる保育士の確保を推進するため、これまでの処遇改善を図る補助制度等に加えて、次の取組を進める。
 - ・ 法人保育施設等に就職した際の一時金の支給対象を、保育士の資格を有するも保育業務から離れている潜在保育士にも拡げる。
 - ・ 潜在保育士の就労の不安を解消するため、保育業務の実践的研修を実施する。
 - ・ 保育士就職フェアでは、保育業務への関心を高めるワークショップの開催や現地見学の促進等により、更なる充実を図る。

児童ホームの待機児童解消に向けては、これまでの公立施設の定員拡大や、民間児童ホーム（民間事業者が実施する放課後児童健全育成事業）の設置補助等の利用促進策に加え、次に掲げる新たな取組を進める。

- 児童数の増加が顕著であり、喫緊に定員増が必要な園田南小学校において定員を拡大する。
- 民間児童ホームの利用促進を図るため、現行の賃借料補助金を拡充し、利用定員数の増を図る。

3 「公共施設マネジメントの着実な推進」について

《提言内容》

項目名		市民生活を支え続けるために
取組の方向性	2	持続可能な行財政基盤の確立 公共施設マネジメントの着実な推進
<p>【方針1：圧縮と再編】</p> <p>・成果と課題</p> <p>第1次尼崎市公共施設マネジメント計画（方針1：圧縮と再編の取組）における見直し対象施設についての施設規模、場所、スケジュールなどを示す「今後の具体的な取組」を策定し、市民意識を把握するための市民アンケートやパブリックコメントを行ったが、市民アンケートで公共施設マネジメントの取組を知っていると回答した人は12%にとどまっていることや、パブリックコメントで市民周知が不十分であるとの意見が寄せられているなど、市民・利用者・関係団体等への情報発信や説明について課題がある。</p> <p>・今後の取組方針</p> <p>公共施設マネジメントを着実に推進していく上では、市民等に対して、本市の今後の財政状況や人口減少の見通しといった取組の背景、圧縮と再編による効果や影響などについて丁寧な説明を行うとともに、市民等のさまざまな意見をとらえて、理解を得ることが必要不可欠である。そうしたことから、公共施設マネジメントの取組を進めるに当たっては、市民等の理解促進に向けた取組を強化すべきである。</p>		

《提言に対する取組状況》

<p>【令和2年度予算編成への反映状況及び今後の取組方針】</p> <p>公共施設マネジメントの取組については、その意義・目的について、市民等の理解が深まるよう、きめ細かく意見を伺いながら進めていく必要があることから、次に掲げる取組を進め、引き続き丁寧な対応に努めていく。</p> <p>○ 施設の特性を踏まえながら、従来型の市民説明会ではなく、タウンミーティング※を積極的に実施する。</p> <p>※ 令和元年度には、(仮称)健康ふれあい体育館の整備にあたってのタウンミーティング形式の説明会を実施し、全ての参加者から意見を聴取できたことに加え、市職員や参加者が活発な議論を行うことにより、多様な意見を共有することができた。</p> <p>○ 公共施設マネジメントの取組やその必要性などについて分かりやすく解説したパンフレットを全戸配布する。</p>

以上